

桐生西ロータリークラブ週報

2010-11年度RIテーマ

レイ・クリンギンスミスRI会長 地域を育み、大陸をつなぐ



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 片貝 良一 クラブ会報・雑誌委員長 岡田 善孝
 幹事 近藤 幸利 委員 山岸 泰男・松戸 義澄

No. 1778

2010年8月27日発行

第1888例会 (2010・8・20) 報告

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 乾 杯 |
| 2. ロータリーソング | 8. 食 事 |
| 3. 委嘱状伝達 | 9. 委員会報告 |
| 4. 出席100%表彰、誕生・結婚祝い | 10. 会員卓話 |
| 5. 会長報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 幹事報告 | 12. ロータリーソング 例会終了後定例理事会開催 |

◆委嘱状伝達

2010-11年度
RI第2840地区
ローターアクト委員

坪井良行君



◆出席100%表彰

(38年) 金子福松君



◆誕生祝い



松原 豊君
栗原幸三君
横塚直人君

◆結婚祝い 該当者なし

◆会長報告 片貝会長

- 2012-13年度RI会長に埼玉県八潮RCの田中作次氏が選出されました。対抗候補者がいない場合、10月1日に会長ノミニーとなります。
田中氏は家庭紙卸売業の株式会社タナカの代表取締役を32年間務め、1995年に株式公開した後、日用品雑貨卸売販売業者の株式会社ダイカと合併しま

した。現在、八潮市商工会の副会長である同氏は、その後、商圏を全国展開するために再度合併した株式会社あらたの相談役を務めています。また、ビジネス経営を専門に学び、全国家庭紙同業会連合会の会長任務を8年間務められました。



八潮RC・田中作次氏

ロータリーの経歴は、ロータリー財団管理委員として2009年バーミンガム国際大会委員会の委員長、RI理事、ロータリー財団地域コーディネーター、地区ガバナーとして活躍されたほか、ポリオ撲滅提唱グループ、恒久基金委員会、未来の夢委員会の委員を務められました。

因みに日本人RI会長は3人目となり、2011-12年度RI会長は、矢野ガバナー年度の地区大会RI会長代理を務められたインドのカルヤン・パネルジー氏です。

- 今晚午後6時30分から美喜仁で桐生5RC会長幹事会が開催され、中野ゴルフ部長と3名で出席いたします。
- 明日21日(土)午後7時30分から県庁昭和庁舎で、地区ローターアクト臨時会長幹事会が開催され、坪井地区RA委員が出席されます。

◆幹事報告 近藤幹事

- ◇次例会はB方式です。(正午～昼食、点鐘12:30)
- ◇ハイライトよねやま126が配信されました。(各テーブルに配布)
- ◇納涼家族会の写真を配布致しました。
- ◇例会終了後1Fにて定例理事会を行います。
- ◇8月23日(月)事務局はお休みさせていただきます。
- ◇下記のものが届いております。
 - ・米山梅吉記念館より『館報2010年秋号』『秋季例祭のご案内』『100円募金並びに賛助会入会のお願い』
 - ・桐生赤城RCより現況報告書
 - ・2009-10年度地区ローターアクト活動報告書
 - ・2010-11年度RIカタログ
 - ・群大工学部より群馬大学公開講座のご案内

- ・社会福祉法人柏より理事長交替のご挨拶状
- ・㈱オクトンより会社移転のお知らせ

◇例会変更のお知らせ

足利RC 9/24 前橋南RC 8/25 太田西RC 9/1,9/22,9/29(休)
前橋中央RC 8/25,9/15(休)、9/29 富岡かぶらRC 9/14,9/21
沼田中央RC 9/16,9/23(休)、9/30,10/28 藤岡北RC 8/31,9/14

◇クラブ会報が到着しています

桐生南RC 7/28,8/4 桐生中央RC 8/5
桐生赤城RC 8/3,8/10 足利RC 7/2,7/9,7/16,7/23

◆乾杯

金子クラブ研修リーダー



年を重ねると熱中症が怖いですが、何とか頑張ってここまで参りました。本日38回目の出席100%表彰を頂きましたが、皆様のご協力のお陰と感謝しております。

それでは本日お祝いを頂いた皆様、そしてご参会の皆様の健勝と、西クラブの益々の発展を祈念致しまして、乾杯!!

◆食事メニュー

1059キロカロリー

豚の角煮根菜添え、豆腐とかんぱちのサラダ、白飯、若布と油揚げの味噌汁、香の物

◆委員会報告

□出席委員会

松尾委員

総数49名(免除者7名の内4名出席の為3名を除く)
出席率対象者46名、出席率対象者出席人数42名
欠席者4名(内前メイク1名) 出席率93.48%
前々例会修正出席率91.11% (最終欠席者4名)

□ニコニコBOX委員会

奥村委員

会員卓話をされる皆様ご苦労様です
稲森君、近藤君、奥村君、乾君、家住君
出席100%表彰を頂いて 金子君
誕生祝いを頂いて 松原君、栗原君
親睦委員さんに感謝を申し上げます 福島君
本日と日曜にラグビーの国民体育大会、関東ブ
大会実施中です ロック
花房君

□ロータリー財団委員会

乾委員長

出席100%表彰を頂いて 金子君
誕生祝いを頂いて 松原君

□米山奨学委員会

小林委員

会員卓話をされる皆様ご苦労様です 稲森君
出席100%表彰を頂いて 金子君
誕生祝いを頂いて 松原君
出席100%表彰・誕生・結婚祝いを受けられた方おめでとう 近藤君

会員卓話



天沼一夫君
(貨物運送業)

「ゴルフ部長の時の思い出」

私が西クラブに入会したのは2000年7月だったと思います。丁度10年経ちました。

須田会長年度(2005-06年度)の時、ゴルフ部長を務めましたので、今日は、その時のエピソードをお話したいと思います。

当時、ゴルフ部は部員数50名弱位居た様に思います。年度がスタートすると直ぐに第1回ゴルフコンペの準備が始まり、またチハヤチャリティゴルフコンペの案内は届くは、あれもこれもと、その一年はゴルフ部の事で頭がいっぱいになった記憶があります。

それで第1回のコンペは、何も分からない為に、会長幹事のご都合をお伺いせずに日程を決めてしまい、ある先輩からお叱りを受けたということもありました。

まあそれはそれとしまして、須田会長が用意して下さった須田杯と称するトロフィは、それはそれは立派なものでした。スマートで繊細なデザインでしたので、ひと目見た瞬間「これはちょっと危なそうだな(^^)」という予感がしました。そうしたら、1回目のコンペが終わらない内に欠けてしまったのです。本当に申し訳ないと思ひまして、内緒で同じ物を手配しまして、無事1回目のコンペは終了しました。

ところが、そういう事は続くんですね。最終的に3回欠いてしまいました。1回目と2回目は内緒で済んだのですが、3回目の時は、伊香保温泉『福一』のさよなら例会での表彰式で、箱から出したとたんに欠けてしまい、本当に冷や汗が出ました。もう皆さんの見ているところで欠けてしまったのですから仕方ありません。その時はそのままお渡しして、欠けていないものを後でお渡ししたと思います。

トロフィが欠けてしまった事も大変でしたが、年に4回コンペを開催して、組合せを考えるのが、こんなにも大変だということが初めて解りました。1回のコンペで組合せを作り直すのが3~4回ありまして、やっと当日を迎えて、無事終了して、ホッと一安心という感じでした。私の業界である運送業界と違い、ロータリーは一つ一つ心配りをしないと、何時お叱りを受けるかわからないといった感じがありました。

いずれにしても、須田会長さんには大変ご迷惑をお掛けして申し訳なく思っております。そんな調子でしたが、どうにか一年ゴルフ部長を務める事ができました。

私は今年度、親睦委員と国際奉仕委員、そして副幹事という大役を仰せつかっております。

次年度また委員会構成が変わりそうですので、判らない事だらけです。この一年私なりに良く勉強を致しますので、皆様には今以上のご指導とご協力をお願い致します。

理事会報告 8月20日

1. 納涼家族会決算承認
2. 新会員福島賢一君の会務分担を親睦委員とする
3. ロータリーの友パナー紹介に初代のパナーを投稿する
4. 米山梅吉記念館100円募金を本部費から拠出する

(株) ホシケン

代表取締役 星野幸男

太田市清原町5-10 太田流通団地

TEL 0276-37-8300

桂建設(株)

代表取締役 家住慧路

みどり市笠懸町阿左美763-2

TEL 0277-76-7723



阿左美博君
（土木建設工事）

「建設業の移り変わり」

私は建設業に携わりまして約40年になりますが、いろいろな移り変わりがございます。

一般の方が家を造る場合などは、地鎮祭から始まり上棟、あとは完成落成という経過になります。最近はその様なしきたりがだいぶ様変わりしております。特に若い方の場合、その様なしきたりを省く傾向にあります。

一方、ご年輩の方はその様なしきたりを守られ、上棟の時は、私の様な建設会社の社長に対して、特に多く振る舞って下さいます。しかし私が頂いたものは全て親方に渡しますし、頂いたお酒も協力して頂いた親方衆に渡します。ですから殆ど実入りはありませんが、時々ま施主さんから「社長さんお世話になります。今後も事故が無いよう良い家を造って下さいね。」と直に頂戴する事もあります。

また、私共は家を建てるだけでなく、道路工事・下水道工事などいろいろ請負ます。以前は、「これから工事が始まりますのでご迷惑をお掛けします。」と近隣の家に挨拶に伺いますと、「どうぞ、どうぞ、他に駐車場を借りますから大丈夫ですよ。」と、早く仕上がる様に協力してくれました。そして、仕事開始前の朝からお茶を出してくれました。10時のお茶の時間には暑い時は冷たい飲物を寒い時は温かいものやお茶菓子を頂きました。お昼には日陰がありますから此処で休んで下さいと言われ、3時にもお茶やお茶菓子を頂戴し、夕方には今日一日ありがとうございました。また明日も宜しく願います。と、とても感謝してもらって工事をすることが多かったです。

最近はその様な事はありません。殆どの場合、「工事が始まるんですか？ 朝晩は車を通して下さい。お昼は出掛けます。子供が帰る頃は事故がないように！」と、なります。ですから昔から比べると経費が3倍以上掛かってしまいます。そして、仕上がった時もお礼を言われるのは1割か2割で、反対に、工事中はうるさかったと言われます。私共は少しでも皆様に喜んで頂く様、努めているつもりですが、この様に大分変わってきました。

また、ここ10～15年位に造った家が、最近競売に掛けられることが多くなりました。その様な建物をリフォームして売るとい時代になっております。ですから今後の建設業はより厳しくなります。私も60才を過ぎ、跡を譲ろうと思いますが、なかなか娘夫婦も受け継いでくれません。建設業界はここ10～20年ほど暗いトンネルに入っており、未だに明るい兆しはありません。

ロータリーに入会して少しは明るくなるかと思いましたが少しも変わらず、考えようかとも思いますが、仲間の皆さんからいろいろなお話が聞けますので、もう少し頑張ってみようと思っております。

今年の6月20日から友人と一緒に禁煙を始めました。タバコが値上がりしたからでなく、健康の為です。一度、車の中で吸ってみましたが、めまいがして運転出来なくなりましたし、周りで皆さんが吸っていても苦にならなくなりました。

皆様も永いロータリー生活が過ぎますよう、健康にくれぐれもご留意して頂きたいと思っております。



江原利夫君
（土地家屋調査士）

「日本橋まで歩いた足跡」

2008年12月29日から31日にかけて、江戸時代後期の画家(1793～1841)渡辺華山の足跡を訪ねて、日本橋まで(112.8km)歩くのきな、そして贅沢な企画に誘われて参加した。

午前6時、真っ暗闇の桐生市役所に集合、身内だけの見送りを受けて元気よく出発。総勢4人である。懐中電気の明かりを足下に照らし、身を切る寒さの中、歩き始める。足音も硬い音とする。会話も口元が寒いためあまり進まない。

体が温まってきた頃、空がしののめに白く明けてきた。足下も見えてきて懐中電気の明かりを消す。夜が明けることにより力が湧いてくる感じがした。

歩き出して1時間、松原橋を通る頃、真っ赤な太陽が顔を出し陽光の輝きを増す。我々に励ましとエネルギーを与えてくれる。隊長がほえる。「よーし体調も良く順調だ。みんな頑張るぞ。」と言霊が聞こえる。全員強くなずき、これに応える。

朝の早い人はもう起きている。家の周りの掃除をしている。リュックを背負う姿に不思議に思うか、何処まで行くのかいと声をかけてくる。チョッと胸を張り「東京まで歩きます。」と応えると、「まあ、それは遠くまでご苦労さんです。」と励ましを頂く。

歩き出して約2時間、太田市吉沢のコンビニ店で買い物、小休止の間に朝食をとる。荷を下ろして大きく背伸びをする。汗ばんだ背中が気持ちいい。栄養剤も飲んで支度を調べ歩き出す。「この辺りの景色懐かしいよなあ」と誰かささやく。歴史は文化財さざえ堂、青春の思い出は第一劇場の看板が目にとまる。誰となくよく来たなど、1人1人頷く。話も弾み足取りも軽やかです。

9時15分、太田市役所に到着。記念写真をパチリ撮っていると、友人渡辺君が居るではないか。差し入れに来たという。桐生では見送れなかったのがここまでわざわざ来てくれたという。友情に感謝です。

この辺りまでは歩幅は順調に伸びている。手も自然と振れて快調そのものである。高林の十字路を過ぎる。利根川の袂にあるGSの休憩所でコーヒーを飲みながら小休止、ほっと一息する。歩き出して5時間弱、肩に足に疲れが出てきた。200m先の刀水橋で記念撮影。堤防の草は意外と青い。北に見える山々は雪景色。浅間山も白く美しい。

橋を渡り終えると埼玉県妻沼の宿場町に入る。途端に日本橋に向けての旅を感じてきた。聖天様のある道の駅で休憩。昼を過ぎてお腹も空いた。ラーメン店に入る。椅子席は満席のため座敷に上がる。疲れも出てきて靴を脱ぐのも一苦労、かけ声が入る。腰をどっしりと下ろしたので疲れも一気にどっと出て来た。少し体の向きを変えるにも大変である。腰を浮かせて動かす方に少し捻っておき、よいしょとかけ声で体制を整える状態です。筋肉痛の足をさすれば、土踏まずから踵にかかり大きな水膨れ、まめのパンクは時間の問題です。お水一杯とラーメンはおいしかった。

よいしょ、気合いを入れて次の目的地に向けてひたすら歩き出す。歩幅にもリズムも変化が出てきた。会話も

途切れ途切れとなり、早い人遅い人の差が大きくなっていく。自分のペースで一歩一歩進む。脳に言い聞かせて頑張らせる。他人の事は意識せず遅れず離れないように後に続く。次の休憩所熊谷市役所が見えてきた。もう少しで休めると思うと少し元気が出てきた。背中の荷物を下ろして大の字になり空を見る。大きく深呼吸する。足の裏はマメがつぶれている。汗が浸みて痛い。グジュグジュになっている。俺も俺もと皆が言う。そういえば途中でブチューと鈍い音がしたのはマメがつぶれた音だった。筋肉痛のふくらはぎを優しくさする。

裏通り通り、国道17号線(中山道)へ出た。陽も少し西に傾き、歩道を歩く影も伸びてきて、遠くの田圃に映る様になっている。上り坂の陸橋はしんどい。歩幅は小さく自分でも分かるがどうにも自由が利かない。陽の沈むまでが今日の行程。あと30分、心に叱咤する。「もう少し」と、星野隊長より声がかかる。「江原君背中が丸くなっている。前にかがみすぎ、胸を張って背筋を伸ばして」と。遠くの影を見る。小さく写る。やっとの思いで陸橋を下り終える。「もう一駅行きますか?」と隊長の声がかかる。疲れきった自分は、「明日のために少し余力を残して今日はここで終わり」と真っ先に言う。

老体の意見で駅に向かう。ご苦労様。

ここまでの日本橋を目指して歩いた第1日目の足跡です。

この続きは、またの機会でお話致します。



桐生西ローターアクトクラブ初例会に出席

8月6日(金)午後7時30分から、希望の家療育病院2F会議室をお借りして、桐生西ローターアクトクラブの今年度初めての例会を行いました。

当クラブからは、片貝会長、矢野PG(RA委員)、正田奉仕プロジェクト委員長、横塚ローターアクト委員長、乾ローター財団委員長、近藤幹事の6名が出席しました。



今年度桐生西RACは、希望の家勤務の小川克行君が会長と会計を、恵愛堂病院勤務の辻真之君が幹事で、当初2名でスタート致しましたが、希望の家で研修に励んでいるインドネシア人介護福祉士候補者4名が、矢野PGのご好意により新たに入会して頂く事になりました。

小川会長が、ローターアクトについて、また桐生西RACの現状や



活動計画など、パワーポイントを使って解り易く発表してくれました。今年度「魅力ある楽しい活動」をテーマに掲げて、クラブ運営を行うとの事です。

クラブの實力は例会に表れる

毎年、多くのクラブ会長が「楽しい例会」を年間の目標に掲げ、出席率アップに頭を悩ませる。

「例会は楽しいか、楽しくないか」。まさに永遠のテーマと云えそうだ。

何故それほど重要視されるのだろうか。クラブ決議機関だから。例会出席は会員の義務だから。どちらもイエスだが、それだけではない。友愛と奉仕を基本理念とするローターにとって、例会はクラブの活力を測るバロメーターだからだ。

出席率が高く、例会に活気あるクラブは、組織が十分に機能を果たし、調和がうまく取れていて、会員の関心度が高く、アクティビティも活発だと考えて、先ず間違いない。

もし、急激に出席率が落ち込むようなことがあれば、クラブはどこかに深刻な問題を抱え、緊急に対応を必要としているに違いない。

「逆もまた真なり」で、例会を楽しいものにする事で、会員の参加意識を高め、クラブに活力を取り戻すことも可能ではないだろうか。

「楽しい例会」とは、どんな例会だろうか? あるクラブはタイムリーな話題を提供するゲストを招請し、またあるクラブは工夫を凝らした食事で出席会員の目と舌を楽しませるなど、様々に知恵を絞っている。

要は会員が参加して良かった。有意義だったと思うかどうかだ。単調で何ら刺激も無い会合では、会員を例会から遠ざける原因となる。

当クラブでは数年前からCLPを採用している。出席、プログラム、親睦、ニコニコBOX、健康管理の5委員会が一緒になって管理運営委員会なるものが作られている。SAAと共に、関係委員会は互いに協力して、例会が楽しいものになるように努力している姿勢が強く感じられ、食事プログラムも極めて充実している。

かなり前の話しになるが、あるPGの寄稿で、アメリカの例会の様子が紹介されていた。題して「型あって型なきごとく」。仕事の視察で訪れたあるクラブ例会に招かれた時の印象を次の様に記している。

「何とそのクラブの賑やかなこと。何と開放的な、何という人間味丸出しの人達の集まる会であろうか。私はその時の感想をいまだに忘れることが出来ない」と。その後、訪問したアメリカのクラブ例会では、どこでも同じ様なムードを感じたという。スピーカーに対して、次から次へと質問する。形は整然としているが、食事が始まると途端に、あちこちで談笑の渦。締まる場所はガッチリとごく自然に締まって、ユーモア溢れる例会の流れはほればほるばかり。「全くクラブを自分のものとして、身近に肌にかけて運営している。このゆとりと弾力、緊張と弛緩、形式と無形式、これらの相反する要素が程良く調和を保って、例会を楽しく、そして有意義に計画的(?)に進める。国民性の違いと云ってしまえばそれまでのこと。だが、これこそ活気ある楽しい例会風景ではないだろうか」と。

Y・H生記

《次例会予告》

9月3日(金) 新世代月間に因んで
大間々高等学校校長先生、IA顧問の先生